

御報恩の月

「興師会」・「御誕生会」に
参詣し御報恩の誠を尽くしましょう。



本證寺通信

発行所
つくば市要46
864-1021
「本證寺通信」
編集室

令和八年・目標

- 一、折伏誓願目標 121名
- 二、毎月の御講参詣
- 三、支部総登山参加 (年三回)

「時間を大事に」

長く続く寒波の影響で毎日寒い日が続いていますが、増信徒
ご一同の皆様はどのようにお過ごしでしょうか。

令和八年を迎え一ヶ月が経ちました。「光陰矢のごとし」と
いいますように時間が過ぎるのはあつと言の間です。先月の御
報恩御講の際に、一月は行つてしまふ、二月は逃げてしまふ、
三月は去つてしまふとお話しをさせて頂きましたが、気を抜い
ていると二月もあつと言う間に逃げてしまふ、三月の年度末に
なり、桜が咲き始めて気がついたら四月の新年度を迎えている
ということになりかねません。

信心修行においても、日々の生活においても時間を大事にす
ることは大切なことです。

大聖人様は、

「我が門家は夜は眠りを断ち昼は暇を止めて之を案せよ。一生
空しく過ごして万歳悔ゆること勿れ」

と「止暇断眠」について御教示です。「止暇断眠」とは、無駄
な暇は止め、無駄な眠りを断つということです。自分の限りあ
る貴重な時間を無駄に使うのではなく、何にどのように使つて
いくのかを考えていかなければいけないということです。

今月は興師会・御誕生会の月です。自分の時間も大事にしな
がら御報恩のために、信心修行・折伏のために、昨年よりも少
しでも多く時間を使えるように精進して参りましょう。

住職

令和8年 年間方針・実践テーマ

◎年間方針 「団結行動の年」

- ◎実践テーマ (1)真剣な勤行・唱題で折伏実践
(2)支部総登山と法華講講習会で人材育成
(3)活発な座談会と異体同心の団結で広布前進

【 興師会・日時変更のご案内 】

2月7日(土) 10時30分(変更前)



2月8日(日) 14時00分

御報恩御講と併せて奉修します。

お間違えのないように、よろしくお願い致します。

【 宗祖御誕生会 】

御本仏日蓮大聖人の末法ご出現をお祝いし御報恩申し上げるために、ご誕生の2月16日に奉修される行事です。

末法という時代に、日蓮大聖人がご出現になり衆生を救済されるということを、インドの釈尊(お釈迦様)が法華経に予言されておりました。(中略)末法の時代に入ると、仏法が隠没して鬪諍や言訟が盛んになり、人心が荒廃して濁悪の時代となってしまう、もはや釈尊の仏法では救われなくなると説かれているのです。この時にあたって、日蓮大聖人が末法的一切衆生を救済する御本仏として日本にご誕生になったのです。(日蓮正宗ホームページより)

興師会・御誕生会に参詣し御報恩申し上げます。

住職・総代・役員一同

○誓願目標○

- ① 折伏誓願数 121名
- ② 支部総登山 150名 (3回)
- ③ 御講参詣者 100名

支部スローガン 「明るく、楽しく、元気よく」

寺院参詣・諸会合での御願い

御講参詣や諸会合など多人数の参詣時には、消毒など御願い致します。
マスクの着用は個人の判断でお願いします。

今後も情報をしっかりと把握していただき、御参詣願います。
御信徒皆様方の健康と安全を第一に考え取り組んで参ります。

①各種寺院行事

- ・ 広布唱題会 2月 1日 (日) 午前9時00分
- ・ 一日参り 2月 1日 (日) 午前10時30分
- ・ 火曜唱題行 午後7時～8時 終了後、作戦会議
- ・ 青少年部会 2月 8日 (日) 午後1時00分
- ・ 御報恩御講 2月 8日 (日) 午後2時00分

②広布推進会

- ・ 2月15日 (日) 午後3時00分 水戸・恵妙寺
- ・ 3月14日 (土) 午後3時00分 水戸・恵妙寺

③各種登山会

- ・ 添 書 御開扉日程を確認の上、3日前までに書類手続き。
- ・ 支部総登山 (3回) 3月29日 (日) 10時30分
6月28日 (日) 11時30分
9月27日 (日) 10時30分

また、葬儀・法事・御授戒などは個別に対応致します。

住 職

令和8年

「団結行動の年」

2月行事予定表

1日 (日)	09:00	広布唱題会
	10:30	一日参り報恩会
3日 (火)	19:00	節分会
8日 (日)	13:00	青少年部会
	14:00	御報恩御講 (興師会)
	引き続き	役員会
15日 (日)	15:00	広布推进会 (水戸・恵妙寺)
16日 (月)	19:00	御誕生会
22日 (日)	13:30	茨城地方部総会 (恵妙寺)

◎ 毎週火曜日は午後7時から唱題行・作戦会議を行います。

◎ 第3・4日曜日「創価学会教学要綱の欺瞞を破す」読み合わせ

令和8年「団結行動の年」

3月行事予定表

1日 (日)	09:00	広布唱題会
	10:30	一日参り報恩会
8日 (日)	13:00	青少年部会
	14:00	御報恩御講 引き続き役員会
14日 (土)	15:00	広布推进会 (恵妙寺)
20日 (金)	10:00	春季彼岸会
29日 (日)	10:30	御開扉

支部総登山 (第1回)

本證寺法華講便り



2026年2月
第51号

寒さ厳しい折、いかがお過ごしでしょうか。早いもので、新年を迎えてもう二月になりました。

昨年9月、歴史ある本證寺の第18代として新御住職様をお迎えし、皆様も気持ち新たになったことと思います。私も新御住職様をお迎えする座替式、入院式に初めて参加させていただき、貴重な体験をさせていただきました。

今月は、節分会、御報恩御講並びに興師会、御誕生会などさまざまな行事があります。

新御住職様ご指導のもと御法話を拝聴する場として、御講をはじめとするお寺の行事に参詣してみてください。そして御本尊様のお力を実感し、周りの人にも伝えて行きましょう。

私もこれから一年を通して、皆さんと共に励みたいと思います。まだまだ寒い日が続きますが、暖かくしてお過ごし下さい。



沖山邦男

諸宗教

破折

179

節分の本当の意義

俗信・迷信

二月三日は節分。

テレビやSNSでは、神社仏閣で芸能人や人気キャラクターが豆をまく様子が映し出され、商店には様々な恵方巻が並ぶ。

もともと「災難を払いたい」「福德を得たい」という願いは、人々に共通する尊い心である。はたして、ただ豆をまけば災いを除き、その年の方角を向いて恵方巻を食べれば幸福が来るのであろうか。

節分の起り

節分とは、本来「季節の分かれ目」を意味し、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指す。なかでも立春の前日は旧暦で一年の始まりにあたるため、特に重んじられてきた。

古代中国では大晦日に「追儺」という、鬼を都の外へ追い出し、疫病や災厄を祓うための儀式が行われていた。これが日本に伝わり、平安時代には宮中行事として定着する。『続日本紀』には、慶雲三(七〇六)年、悪病が流行した際にこの儀式が行われたと記されている。

やがて室町時代になると、豆をまいて鬼を追う

「節分会」へと発展し、民間にも広まった。

豆には「魔を滅する(まめ)」「魔滅」との語呂合わせがあり、健康や長寿を願う行事として今日まで受け継がれている。

鬼とは何か

一般に鬼は、角を生やした悪鬼として描かれるが、一説には、その語源は「隠」、すなわち「目に見えないもの」に由来し、人の心に潜む悪意や迷いを象徴するものともいわれる。

仏教では、人の身心に入り込んで悩ませることが説かれている。

法華経『勸持品第十三』には、

「濁劫悪世の中には多く諸の恐怖有らん 悪鬼其の身に入る」(法華経 三七七六)

と説かれ、末法の世には悪鬼が人の身に入り、その人を狂わせ、周囲をも不幸にする」と明かされている。鬼とは、人の身心を害する恐ろしい存在なのである。

悪鬼の栖

日蓮大聖人は『立正安国論』に種々の経文を披いた結果、

「世皆正に背き人悉く悪に帰す。故に善神国を捨て、相去り、聖人所を辞して還らず。是を以て魔来たり鬼来たり、災起り難起る」(御書 二三四六)

と明かされている。

すなわち、人々が正法に背き邪な信仰が蔓延る時、国土を守護する諸天善神は法味に飢えて天上に帰り、聖人は国を去ってその跡に悪鬼や魔神が棲みつき、災難や争いを引き起こす。

ゆえに大聖人は、一刻も早く人々が謗法の神社仏閣への供養・参詣を止め、三大秘法の仏法に帰依するよう勧められている。

軽々しく神社仏閣に足を運ぶことは、仏法破壊の謗法の地に縁を結ぶことであり、知らぬ間に重い罪障をも積むことになる。

諸天善神の守護

総本山第二十六世日寛上人は『撰時抄愚記』に、「凡そ神天上とは是れ謗者の前に約するなり。若し信者の前に約すれば、諸神恒に頂に居す」(御書文段 三三二六六)

と、妙法を信する者は常に諸天が宿って守護すること

を仰せられている。

また、法華経に登場する鬼子母神や十羅刹女も、もとは衆生を害する鬼であつたが、釈尊の教化によつて正しい信仰を持つ者を守護する誓いを立て、善鬼となつた。

大聖人は善鬼について、「善鬼は法華経の怨を食す」(御書 二二二二六)と仰せであり、本宗では、「鬼は外」と祓うのではなく、「福はうち」とだけ言いながら、豆をまく。

真の「福」を招く信心

大切なのは、御本尊への真剣な信仰によつて、真の転厄為福の功德を得ることである。

本宗における節分は、季節の移ろいを寿ぎつつ、災いを転じて福となし、信心を錬磨する機会である。

正法の信仰こそが真の「福」を招く力となる。私たちは、自らの煩惱を折伏して妙法広布のために一歩を踏み出す決意を新たにしたい。

この確信をもつて、周囲の人々に節分の本当の意義を語り、日蓮正宗の寺院への参詣を勧めていこう。

節分の月ですので今月の大白法より諸宗教破折「節分の本当の意義」を掲載いたしました。ぜひご一読ください。